

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)枚方市楠葉朝日2丁目計画	階数	地上15F
建設地	大阪府枚方市楠葉朝日2丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、一種住居地域、一種	平均居住人員	4人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年5月21日
敷地面積	2,414 m ²	作成者	大阪エンジニアリング事業部 松本優!
建築面積	672 m ²	確認日	2020年5月21日
延床面積	5,688 m ²	確認者	大阪エンジニアリング事業部 丸尾和彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 82%</p> <p>③上記+②以外の 82%</p> <p>④上記+ 82%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>機能性を向上する設備機器を敷設し、温熱環境や建材の有害性に配慮した計画とすることで、長期的に良好な住環境を得られるよう努めている。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>劣化対策等級3取得予定</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>沿道周辺には緑地を設け、良好な景観を形成している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>有効な採光・通風の確保のために、各住戸が外皮に二方向面するよう計画している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>有害物質を含まない建材種別を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LCCO₂の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0023

Osakafu・新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)枚方市楠葉朝日2丁目計画 新築工事					
		建設地	大阪府枚方市楠葉朝日2丁目3-10					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					4		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.7	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.5		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.4		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.8	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								